

1 期 日

令和5年1月11日（水）18:30～19:45（公民館会議室4）

2 出席者

東海村社会教育委員：（6名出席，1名欠席）

事務局（生涯学習課長，公民館（2名））

3 結 果

（1）議案第3号 教育委員会に対する答申（案）について

- ・答申については、「社会教育団体に対する補助金交付に関する意見について」の諮問に対し，社会教育委員会議として「特に異存ない」と答申の内容とすることで決定された。

<意見交換の概要>

- ・子ども会育成連合会補助金があるが，子ども会の数はいくつあるのか。（委員）
- ・白方小・照沼小・村松小は現在ない。夏に交流館で子ども神輿をやったが，5団体くらいで単位子ども会の組織は減っている。（事務局）
- ・村内の子ども会がなくなっているのは，子ども会の役員が嫌だという意見も聞く。（委員）
- ・交流館では3世代交流や親子でする行事を楽しくやっている。（事務局）
- ・子どもの参加者は何百人というが，子どもたちが自ら率先してやるというのが少ないというのが課題である。（委員）
- ・補助金の金額がどうこう以前に，どういう課題があるのか議論することが大切だと思う。（委員）
- ・地元の子どもの会の会長になるのはいいが，村子連に入った時が大変そうである。地元だけでなく水戸地区や県など上部組織にも参加しなければならないので，それが義務でないなら，子ども会は存続していたかもしれない。（委員）
- ・文化保存・自然保護活動支援金とあるが，鳥や花は春夏秋冬で違って四季があるので，冬ばかりに限定して活動するのではなく，もう少し活動する場を増やした方が良く思う。（委員）
- ・交流館では，これらの団体である生け花子ども教室（伝統文化）や環境調べ隊（自然保護）など講師として通年に活動するのを支援している。（事務局）
- ・村松山虚空蔵堂で観光ガイドのボランティアをしているが，子どもたちに東海村のことをもう少し知ってもらいたい。今度，東海十二景巡りもするなど，村内に出張もしているので，村の良い所をPRしたい。（委員）